

# タケウチケブカミバエ

ハエ目ミバエ科

*Paratephritis takeuchii* Ito

石川県カテゴリー 情報不足

国カテゴリー なし

## 選定理由

個体数が少なく、希少種である。

## 形態

体長は約5mmと微少種である。頭部は褐色をしており、黄色い毛で覆われている。胸部は黒色、翅には斑紋がある。腹部は黒褐色で、黄色の紋がある。

## 国内分布

石川県白山、奈良県大台ヶ原山、福岡県英彦山。

## 県内分布

白山の釈迦岳、大嵐山で採集されている。

## 生態

釈迦岳と大嵐山においては、ミズバショウの葉に寄生している。大台ヶ原山ではオタカラコウの葉柄に虫瘤を形成する。

## 生息地の条件

県内では、ミズバショウに寄生することが確認されているので、ミズバショウの生育する環境が重要と思われる。

## 生存の危機

ミズバショウは植生破壊されることが少ないので、生存が脅かされる可能性は低い。

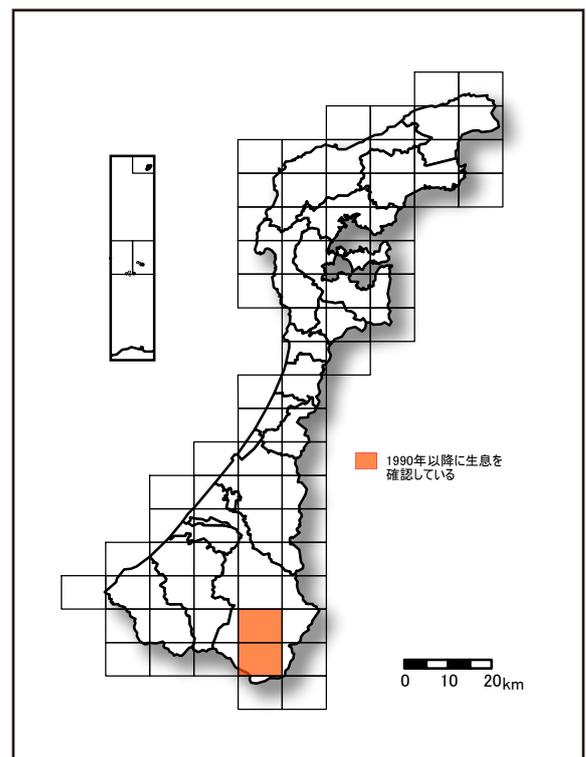
## 特記事項

本種は白山の特別保護地区および、その周辺に分布する。

## 参考文献

Ito, S. 1983-1985. Die Japanischen Bohrfliegen. 233-234.  
徳本 洋・佐伯芳造 1998. ハエ目. 石川県の昆虫 : 323. 石川県自然保護課.

写真(図)はありません。



県内の分布